

3月定例会における西澤議員の一般質問(6日)要旨をお知らせします。

I、子どもの健やかな成長を支える施策の充実

町政がどちらを向いて努力しているか、仕事をしているか——のパロメーターともなる。政治の責任として、大人と地域社会のあり方、安定した家庭、貧困と格差の是正こそ求められる。

1、おいしく、バランスの取れた学校給食の実現、食による教育的効果と甲良町の子供の健やかな成長めざし、学校給食の位置づけからして、現在(広域実施)の現状と課題をどのように認識しているか。

①甲良町独自の学校給食の体制を真剣に考えなければならない時期に来ているのではないか。

②例えば「学校給食検討委員会」などの具体的な方向性が必要では。

③そのためには、先ず広域実施の総括が必要ではないか。

2、全国で、インフルエンザの猛威

野瀬町政の初予算、課の改編、副町長設置議題・・・ エリ正し、くらし・子育て応援を

に今冬季さらされた。

①町内での感染状況と対応策は。

②予防接種の実施率は。

③インフルエンザ予防接種に対する補助の創設を。

3、高校卒業までの医療費無料化を

II、JA 東びわこ農協「推薦」虚偽記載を問う

公選法に定められている通り、各種選挙は日本の国・地方政治の民主主義の基本をなすもの。今後の野瀬町長の町政運営上でも政治姿勢の基本が問われる問題である。

1、公選法第1条の精神を歪め、踏みにじったという認識はあるか。

2、野瀬町長の職歴に照らして「手続きミス」や「知らなかった」などで済まされると考えられるか。

3、「訂正とお詫び」(1月17日新聞折り込み)は野瀬町長名の発行ではない。公職選挙法違反の認識はあるか。

4、自ら明確なはじめをつけるつもりがあるか。

III、信頼できる行政への改革の道スジを問う

1、公金横領事件の結末はいかに。延滞金返金事件の顛末をどのように処理するか。

①監査委員の「監査結果」を受けた後の対応課題は。

②損害賠償を求める相手・小島は自己破産が認められており、残りの金額を弁償することに厚い障壁が予想されるが、どのようにして克服し、被害回復させるつもりか。

③税の納入データ改ざんによる町のシステムに対する信頼が根本から壊れている現状をどのように打開するつもりか。

④町が被った約7万円(差押延滞金の内、約半額を返金)の損害について民事上・道義上責任を明確にする必要があるのでは。

2、行政機構(体制)改革の中で、「仮称・なんでも相談室」の設置、町長室を一階に移設を提案する。

3月定例会日程

2日(金) 議会全員協議会(議案説明など)

5日(月) 本会議(開会、議案提案、一部採決ほか、一般質問)

★一般質問=西川、阪東、宮崎、田中、野瀬の各議員の順

6日(火) 本会議(一般質問)

★一般質問=山田充、岡田、建部、西澤、山田裕康の各議員の順

7日(水) 予算決算常任委員会(一般会計審査)

9日(金) 予算決算常任委員会(特別会計審査)

委員会の後、全員協議会(「副町長設置」議題集中審議)

12日(月) 予算決算常任委員会(予備日)

▲上記いずれも9:00開会

13日(火) 総務民生常任委員会

(付託案件=条例5件) 13:30開会

20日(火) 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決) 9:00開会

どなたも傍聴できます



甲良民報

2018年3月4日

728号

発行責任: 日本共産党甲良町議員

連絡: 甲良町在士463(西澤)

Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

広域ごみ処理 非公開と金銭による誘導を 施設建設 根本から改め、再検討を

週2回家庭から出される燃えるごみの行方はご存知ですか？現在はいりバスセンターですが、このごみ処理をめぐって、1市4町の広域行政組合で実施する彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設」の建設候補地に関し、議論が熱く交わされています。昨年6月、施設建設の「候補地」に愛荘町竹原区の旧梨園が選定されました。しかし、竹原区に隣接する岩倉、松尾寺南・北、東出の各自治会が反対を表明しています。

去る2月27日、1市4町で構成する広域行政組合議会の2月定例会で、平成30年度予算の内「建設候補地」に関わる業務委託料約460万円が削除される事態が起きました。これは、竹原に選定」まで非公開で進め住民合意を無視した行政「管理者・大久保彦根市長」への不信が強い世論となり議会を動かしたものと云えます。

西澤議員は一般質問で当局を追及し、同予算削減の賛成討論も行いました。

西澤議員の一般質問要旨は次の通りです。小見出しは編集者)

◇ 今日「厳しい状況」になった根本的原因を明らかにしておかなければならないと思います。

◇ それは、広域化処理にあたって、県が平成11年3月に発行した「滋賀県一般廃棄物処理広域化計画 概要版」以下「広域化計画」と言いうの「広域化の実現に向けた今後の取り組み」では、今まで以上に周辺住民の理解と協力が不可欠であり、計画の段階で十分な住民説明を行なうとともに「と述べています。この広域化計画で述べていることと実際に進行していることがまるで逆さまでです。周辺とは、応募地の限定的な狭い範囲ではないことは明らかです。ゴミ焼却処理の煙は応募地だけにたなびくものではありません。今日の混乱を招いた第一の根本



原因は5つの応募地を非公開」で進めたことにあります。

2 つ目は、3億円の地域振興補助という「ゴミ問題の解決」という本筋から外れた利益誘導を付加したことです。

広域化の課題

整理こそ優先を

3 つ目には1市4町におけるごみ処理問題の現状・課題の整理、その上での広域が望ましいのか、それとも別の枠組みがふさわしいのか、環境にやさしく、安心していただける処理方法をどうするか、などの基本的課題・方針の検討こそ最優先で

住民の方々と共に進めなければならぬのでは無いでしょうか。

過去失敗の

教訓を生かさず

現実問題として、広域化計画の中で、稲枝・石寺地区、海瀬地区でとん挫し、広域化計画の根本的な見直し、公開を進めることなどが突きつけられていました。ところがその教訓を活かさなかったことを指摘せざるを得ません。

管理者は「厳しい状況」と表現せざるを得なかった現実と原因をどのようか認識をおたずねします。

(2) 省略

(3) このままの現状で竹原区を建設地とする」と強行してしまえば大きな禍根を残すことに。竹原区とそれ以外の地区、住民間で対立と分断を現在でも行政が持ち込んでいく上に、さらに深刻な傷を将来にわたり残してしまう恐れが

あると考えます。

絆をこわし、住民間に対立と分断

当該地域は、堅井之大宮の祭りなどを通じ硬い絆で結ばれ連携し、お互い助け合ってきた地域だと聞かれています。ある方は、4月に行われる、祭りでもトランプが起これないかと大変心配されています。まさに、寝耳に水で竹原地区にゴミ処理施設が建設される予定だというだけで、本当に心を痛めておられるのです。

白紙・再検討を

建設候補地を竹原区に選定した」という管理者会の「確認」をいったん白紙に戻し、再検討することが求められているのではないかと。

質問に対し、混乱の原因には触れず、粘り強く丁寧に説明する」との答弁に留まりました。

基本計画策定等業務委託料

約460万円削除の修正可決

彦根市の安澤議員から提出された賛成11(反対7、欠席1、議長は加われない)で可決。西澤議員は「経過から見ても透明、不透明さが判明した。竹原ありきの予算を白紙に戻すことは行政との信頼を回復する上でも重要」と賛成討論をおこないました。